

笠間市デジタルトランスフォーメーション (DX) 計画 令和2年度進捗状況報告

＝笠間市デジタルトランスフォーメーション (DX) 計画に基づいて、令和2年度の進捗状況を報告します＝

1. 笠間市デジタルトランスフォーメーション (DX) 計画の概要

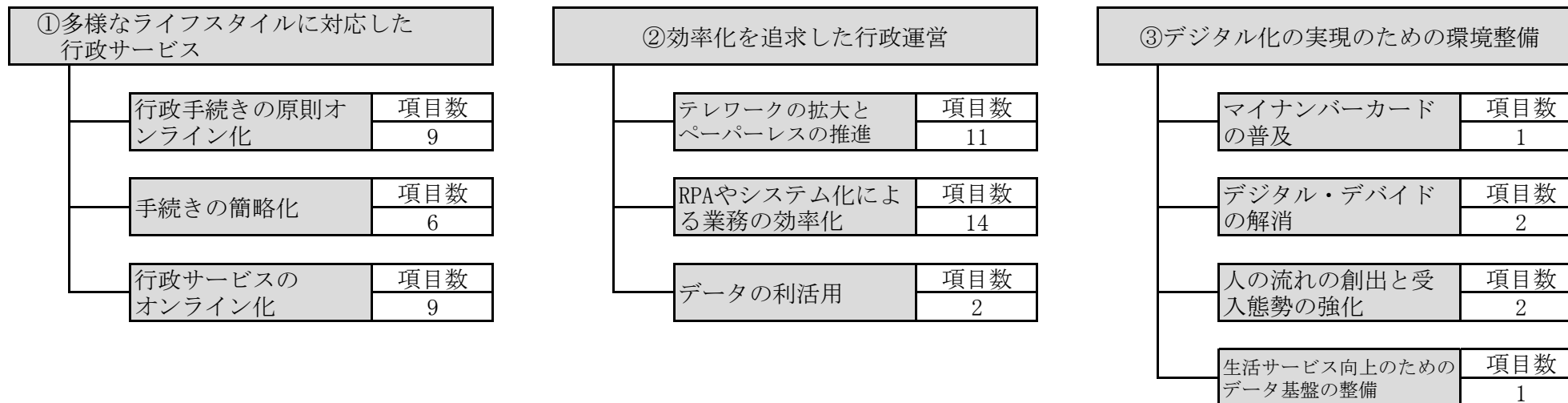
(1) 計画の構成

笠間市デジタルトランスフォーメーション (DX) 計画 (以下「DX計画」という) は、第三次笠間市行財政改革大綱に掲げる基本方針の一つの柱である「効率的な行政運営」を具体的に推進する実行計画であり、「人・場所・情報がつながり、ウィズコロナにおける利用者の多様なライフスタイルに寄り添える地域社会の実現」を計画の目的として以下の三つの柱で構成されています。

【本計画の柱】

- ①多様なライフスタイルに対応した行政サービス
- ②効率化を追求した行政運営
- ③デジタル化の実現のための環境整備

(2) 個別計画 (取り組み) 数



(3) 計画の期間

計画の期間は、令和2年9月から令和5年3月とし、可能な限り令和3年度末までに各取り組みを実現させることを目標とします。なお、国の政策や情報通信技術の動向を踏まえ、適宜見直しを行います。

2. 計画の進捗状況

(1) 個別計画の進捗状況

評価	多様なライフスタイルに対応した行政サービス		効率化を追求した行政運営		デジタル化の実現のための環境整備		全体	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
導入完了 ※カッコは計画より早期導入できた項目数	9	37.5%	6	22.2%	4	66.7%	19 (4)	33.3%
取り組みを継続（検討継続） ※カッコ内は計画より遅れている項目数	15	62.5%	17	63.0%	2	33.3%	34 (13)	59.6%
取り下げ	0	0.0%	4	14.8%	0	0.0%	4	7.0%
合計	24	100.0%	27	100.0%	6	100.0%	57	100.0%

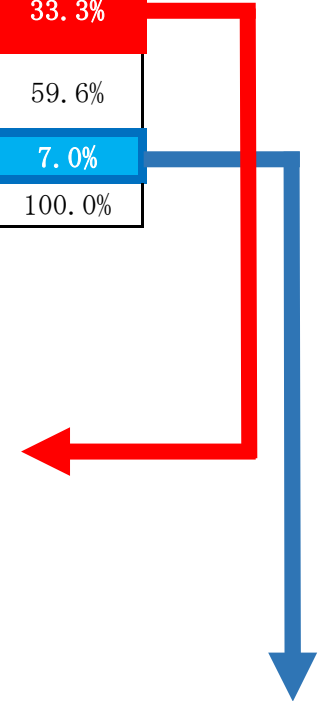
①導入が完了した個別計画

※★印は、早期導入できた項目

★「書かない窓口」の導入	無線LANの導入（ペーパーレス化推進）
★子育て等に関する相談の予約	消防システムの入力業務における導入
★集団健（検）診のWeb予約システムの導入	生活保護業務についてタブレットを活用
★申請書の押印を原則廃止	生活保護業務における管理システムの導入
講座の動画配信	保育所業務におけるシステムの導入
無線LANの導入（オンライン講座の導入）	企業への訪問（マイナンバーカードの取得促進）
LINEによる情報発信	講座の実施（情報リテラシーの向上）
市政懇談会のライブ配信	タブレット端末等の導入（学校のICT環境の整備）
市ホームページへのチャットボットの導入	モデルオフィスの設置支援及びバージョン等の仕組みを構築
農業委員会でのタブレットの活用	

②導入を取り下げる個別計画

項目	理由
電子署名の導入	令和3年1月29日に地方自治法施行規則の改正が行われ、新たに立会人型電子契約の方法が追加された。そのため当事者型電子契約に必要な電子署名を取得する必要がなくなった。本市は立会人型電子契約を進めるため、項目を取り下げることにした。
犬猫不妊去勢手術補助事業における導入	RPAで処理するのは困難な業務フローがあることが判明したため、項目を取り下げることにした。
電子入札に係るデータ入力業務における導入	RPAで処理するのは困難な業務フローがあることが判明したため、項目を取り下げることにした。
市とスポーツ協会（旧体育協会）所属団体との間で情報交換等を行うためのシステムの導入	スポーツ協会事務局と調整をしたが、協会所属団体とはe-mailで情報交換することとなったため、項目を取り下げることにした。



(2) 申請のオンライン化の進捗状況（施策：行政手続きの原則オンライン化における取り組み項目）

申請種類	項目	
分類①	実施完了	10
	未実施	211
	新規（実施完了）	11
	新規（未実施）	2
分類②	調査対象外	29
分類③		157
合計		420



分類①について

手数料や対面の必要がない申請

実績調査対象⇒

- ・221件中10件を実施
- ・新規13件中11件を実施

分類②について

手数料のオンライン納付により対応可能な申請

オンライン納付の環境を整える必要があるため、調査対象外としています。

分類③について

対面が必要な申請

対面の必要性について整理したうえで、オンライン化を検討するため、調査対象外としています。

申請のオンライン化が完了した手続き

番号	手続き名	年処理件数
8	入札	—
250	国民健康保険送付先設定	100
282	国民健康保険税納付見込額票交付申請	500
302	経営所得安定対策交付申請	400
343	寺子屋事業参加申込	200
346	人権教育講演会参加申込	200
381	消防団入団届	29
382	消防団退団届	37
383	消防団応援の店登録申請	67
384	消防団分団役員異動届	33

新たに申請のオンライン化（計画）に追加した手続き

番号	手続き名	年処理件数	オンライン化
新規1	笠間歴史フォーラム参加申込	48	済
新規2	かさましこ日本遺産推進講演会参加申込	31	済
新規3	かさま音楽フェスタ～奏～参加申込	44	済
新規4	子ども会活動にかかるアンケート調査	83	済
新規5	普通救命講習会定期開催申込	15	済
新規6	自衛消防訓練通知書	400	済
新規7	改修（計画）報告書（消防関係）	150	済
新規8	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生する恐れのある行為の届出書	130	済
新規9	煙火打ち上げ・仕掛け届出書（消防関係）	90	済
新規10	道路工事届出書（消防関係）	150	済
新規11	防火管理者講習受講申込書	80	済
新規12	笠間市消防団応援の店登録変更・廃止届	—	今後予定
新規13	消防団活動服申込	—	今後予定

3. 令和2年度 進捗状況の総括

笠間市デジタルトランスフォーメーション（DX）計画（以下「DX計画」という）の進捗管理は、各々の個別計画が導入できたか、更に個別計画の中の一つである「申請のオンライン化」がどの程度進んでいるかの二つの進捗状況で管理します。

令和2年度の個別計画の進捗状況は、計画を策定してから6か月間の短い期間でしたが、4項目を予定より早く導入することができました。しかし、13項目に遅れが生じているため、令和3年度は遅れている個別計画を強く押し進める必要があります。

導入実績は、導入が完了した個別計画が19項目あり、全体の33.3%を6か月間で完了することができました。

しかしながら、必ずしも計画どおり進んだものばかりではなく、実施に向けて検討していく過程で、「効率化での有効性」に疑問が生じたことで計画から取り下げた取り組みが3項目ありました。また、法整備により計画を進める必要が無くなった取り組みが1項目ありました。

一方で、「申請のオンライン化」については、調査対象とした211申請のうち、完了が10申請であり、新規でオンライン化した申請も含めて、21申請にとどまってしまいました。

「申請のオンライン化」については、行政手続きの申請に押印または自署の必要性を検討しなければならず、本市も押印の見直しの検討を行いました。

本市の押印の見直しの結果は、例規改正を行った様式数が1,213件（令和3年4月1日時点）あり、これに合わせて、本計画に計上されている「申請のオンライン化」についても、見直しを行う必要性が生じています。

これらのことから、令和3年度は個別計画「申請のオンライン化」を再編し、市民の皆さんが、“いつでも”、“どこでも”必要な申請ができるように「多様なライフスタイルに対応した行政サービスの実現」に向けて、行政手続きのオンライン化を大きく前進させることを目標として取り組み、行政のデジタル化を推進するとともに、地域におけるデジタル変革の加速を促進します。